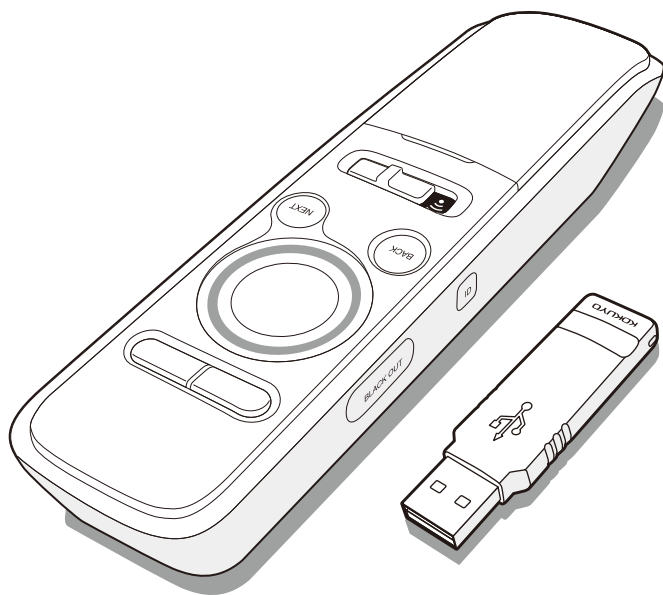


ツインプレゼンポインター 〈二灯流〉 ELA-TP1N

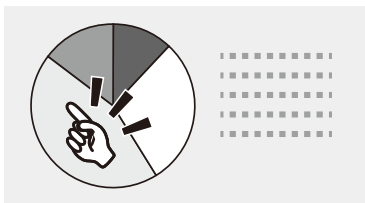


この取扱説明書は、この製品の使いかたと使用上の注意事項について記載しています。
ご使用前に、よくお読みの上、正しくお使いください。
また、この製品を末永くご使用いただくために、この取扱説明書は大切に保管してください。

※Microsoft Windows、Microsoft PowerPoint は、米国 Microsoft Corporation の米国および他の国で登録されている登録商標です。Mac OS、Keynote は、米国および他の国で登録されている Apple inc. の商標です。その他、記載の会社名および商品名は、すべて各社の登録商標です。

CONTENTS

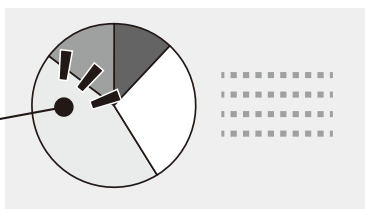
●エアビームとして使用する □ 9



ポインターのサイズや色を変更する

● ■ ★ ↗ ✎ □ 10

●レーザーポインターとして使用する □ 11



タイマーを設定する



..... □ 12

パワーポイントの操作

..... □ 14

Keynoteの操作

..... □ 15

はじめに

お客様へお願いとお断り	3
安全上のご注意	3
ユーザー登録	4
特長	4
使用できるパソコンの機種と必要装備	4

準備する

梱包内容	5
電池の確認	5
各部の名前	6
電源の ON/OFF	7
受信器を接続する	7

使い方

●エアビームとして使用する	9
エアビームポインターの表示のしかた	9
エアビームポインターの設定方法	10
●レーザーポインターとして使用する	11
レーザーポインターの表示のしかた	11
●エアビーム / レーザーポインター	
共通の設定と操作	12
タイマーの設定方法	12
タイマーの操作	13
パワーポイントの操作	14
Keynote の操作	15
終了のしかた	16
ID 設定	17
マルチモニターでの切り替え	17
ポインター設定保存	18
Mac 用ドライバのインストール	19

その他 困った時・保証など

故障かな?と思ったら(不調診断とQ&A)	21
お手入れのしかた	23
仕様	23
廃棄時の分別のしかた	24
使用許諾契約書	26
保証書	裏表紙

■お客様へお願いとお断り

- 本書 □□26 に使用許諾契約書が付いています。ご使用前に必ずお読みください。
- 本書の内容は、4 ページの「使用できるパソコンの機種と必要装備」を満たしており、それらを使用する上での基本操作・用語について理解されていることを前提に記載しております。
基本操作・用語についてご不明な点は、ご使用のパソコンの取扱説明書などをご覧ください。
- 本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。TM、®、© などのマークは記載しておりません。
- 本書の内容については予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することはお断りいたします。
- 本製品のご使用により発生した損害に対しては、当社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。本製品をパソコンに接続する前に、パソコン内のデータについて必ずバックアップをお取りくださいますようお願いいたします。
- 本製品を廃棄される時は、廃棄する地域の条例や法令に従って行ってください。
- 液晶等の画面上では、レーザー光は見えにくくなります。

安全上のご注意

警告

- 電波を使用しており、電子機器や医療機器（例えば心臓ペースメーカー）などに影響を及ぼすおそれがありますので、航空機内や病院など使用を禁止されている所では使用しないでください。
- 以下の内容を守らないと、目を傷める原因になります。
 - ・レーザー光を眼には絶対に直接照射しないでください。
 - ・レーザー光を絶対にのぞき込まないでください。
 - ・レーザー光を絶対に人に向けしないでください。
 - ・子供に使わせないでください。

注意

- 本製品は、電波を使用しています。外部から同様の電波を受けた時、まれに誤動作する場合があります。重大な影響を及ぼすおそれのある機器では使用しないでください。
- 以下の内容を守らないと、ショート・発火・けが・故障・破損の原因になります。
 - ・本製品を高い場所から落としたり、強い衝撃を加えるなど、乱暴に取り扱わないでください。
 - ・水がかかるとおそれのある所では使用しないでください。
 - ・本製品の分解や改造はしないでください。
 - ・ボタンを強い力で無理に押さないでください。
 - ・お客様の手の届かない所に保管してください。
 - ・アルカリ乾電池以外は使用しないでください。故障の原因になります。
- 電池は、以下の内容を守らないと、液もれによる周囲の汚損や破裂による火災・けがの原因になります。
 - ・電池または電池のパッケージに記載されている注意事項を守り、正しくお使いください。
 - ・分解したり、ショートさせないでください。
 - ・加熱したり、火の中に投入しないでください。
 - ・種類の違う電池や古い電池と新しい電池を混ぜて使用しないでください。
 - ・電池をセットする時は、⊕⊖を間違えないように正しく行ってください。
 - ・消耗した電池は、早めに交換してください。
 - ・長時間使用しない時は、電池を本体から抜いてください。
 - ・付属の電池は動作確認用です。開梱時に電池が消耗している場合がありますので、早めに新しい電池に交換してください。

■ユーザー登録

お客様の貴重なお声を、今後の商品開発・販売両面に反映させていただきますので、下記ホームページにてユーザー登録およびアンケートにご協力くださいますようお願い申し上げます。
ツインプレゼンポインター〈二灯流〉ホームページ <http://www.kokuyo-st.co.jp/stationery/tp/>

■特長

- エアビームモードではポイントの「色」「形状」「サイズ」を手軽に変えられます。
- エアビームモードでは液晶モニター・透過型スクリーンなどでもきれいにポイント箇所が見えます。
- パソコンへのソフトウェアのインストールが不要です。
※Macで「設定モードの保存」機能をご使用いただくには、ドライバのインストールが必要です。
- モード切り替えにより、赤色レーザーポインターとしても使用できます。
- カウントダウン方式のタイマー機能搭載。終了時にパイプレーションでお知らせします。

■使用できるパソコンの機種と必要装備

- 対応機種…以下の対応OSを標準インストールしたパソコン
- 対応OS… 日本語Windows Vista/7(7 Starter除く)/8/8.1/10
日本語Mac OS 10.5/10.6/10.7/10.8/10.9/10.10/10.11/10.12
(intel社製プロセッサ搭載のMac)
※Windows8では「スタート」画面上においては、エアビームは動作しません。
「デスクトップ」画面上での動作となります。
- 対応ソフト… Windows : Microsoft PowerPoint 2003/2007/2010/2013/2016
Mac : 2008/2011/2016
Keynote 4('08)/5('09)/6/7
- 必要装備…USBポート
- インターフェイス…USB Ver1.1以上
※以上の条件を満たしたパソコンでのみ動作します。
※お使いのパソコンの性能や環境によりポインターの反応が遅くなる場合があります。

最新のOS、ソフト対応状況は下記ホームページにてご確認ください。
<http://www.kokuyo-st.co.jp/stationery/lp/>

■末永くご使用いただくためのご注意

- 本製品は室内または屋内用です。湿気やホコリの多い場所、極端な温度条件下や急激な温度変化がある場所での使用や保管はしないでください。故障や動作不良の原因になります。
- 本製品の近くに、ディスプレイなど電波に干渉する機器や携帯電話など電波を発信する機器、金属板などの信号をさえぎるものがないようにしてください。故障や動作不良の原因になります。
- 受信器の取り付け、取りはずしの際には、金属製のものに触れて静電気を除去してから作業を行ってください。静電気による故障や動作不良が起こるおそれがあります。

準備する

● 梱包内容

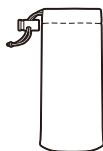
この製品のパッケージに以下のものが入っていることをご確認ください。



本体



受信器



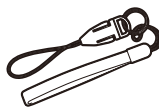
保管用ポーチ



お試し用電池
単4形アルカリ乾電池
1.5V…2本



取扱説明書(保証書含む)



ストラップ

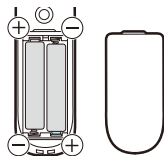
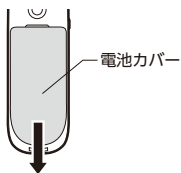
● 電池の確認

電池を入れる前に

本製品で使用できる電池は、単4形アルカリ乾電池です。

電池のセットのしかた

- 1 本体裏側の電池カバーを
下側に引いて外します。
- 2 本体に電池の⊕⊖を確認し
ながらセットしてください。
- 3 電池をセットしたら、電池カバー
をきちんと閉めてください。



電池の交換時期

本製品を動作中にタイマー表示部に「0:00:00」が点灯したら電池の交換時期です。早めに交換してください。

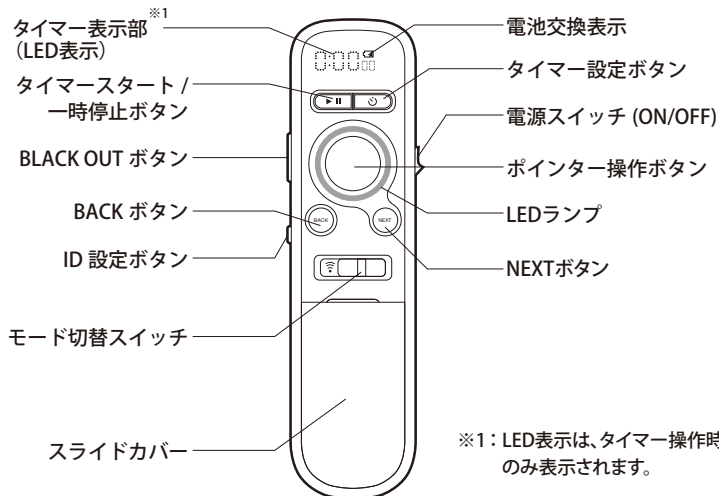
⚠注意

- ⊕⊖を間違えますと、故障の原因になります。
- 必ず2本とも新しい電池に交換してください。個々で交換すると、液もれの原因になります。

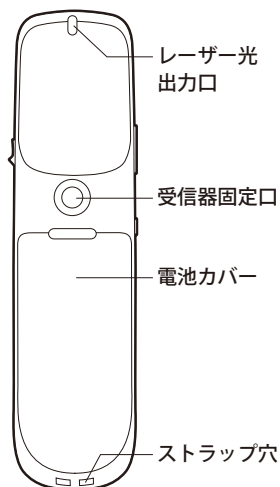


●各部の名前

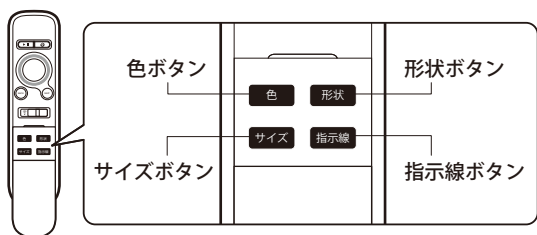
本体・表側



本体・裏側

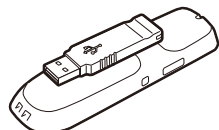


本体・スライドカバー内



受信器

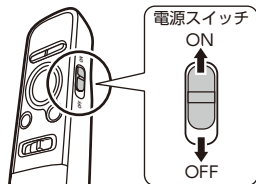
LEDランプ (青色)



受信器は本体に取付できます。

● 電源のON/OFF

- 電源ON … 電源スイッチを ON にします。LED ランプが約 5 秒間点灯します。すべてのボタンが使用可能になります。
- 電源OFF… 電源スイッチを OFF にします。すべてのボタンが使用できなくなります。



- ※使用しない時は電源を OFF にしてください。
- ※長時間使用しない時は、電池を本体から抜いてください。

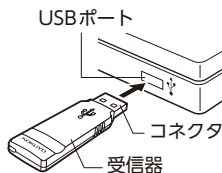
● 受信器を接続する

本製品を使用する場合は以下の手順で受信器を接続してください。

⚠注意 受信器を接続する前に、必ずパソコン内のデータのバックアップを取ってから行ってください。

【Windows Vista/7/8/8.1/10の場合】

- ① パソコンの電源を入れて、パソコンが起動したことを確認してください。
- ② パソコンの USB ポートに、受信器のコネクタを接続してください。
※USB ポートの場所は、パソコンによって異なります。
- ③ パソコンのタスクバーにデバイスアイコンが表示されます。
※初回のみパソコンの再起動が必要な場合がありますので、パソコンの指示に従ってください。再起動後に受信器を差し直してください。
- ④ ポインター操作のアプリケーションが自動的に起動して、タスクバーに AIR BEAM のアイコンが表示されます。



タスクバー



パソコンのUSBポートに
形状を合わせて差し込む

セキュリティ・情報漏えい対策などのため自動再生(オートラン)が無効になっている場合(※)がありますので、以下の手順でアプリケーションを起動してください。

(※Windows OS、セキュリティソフト、会社・個人独自の設定により起動制限している)

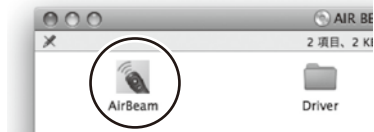
- Windows 8.1/10の場合… [PC]から[AIR BEAM]を選択して、その中の[AirBeam]をダブルクリックしてください。
- Windows 7/8の場合… [コンピューター]から[AIR BEAM]を選択して、その中の[AirBeam]をダブルクリックしてください。
- Windows Vistaの場合… [コンピューター]から[AIR BEAM]を選択して、その中の[AirBeam.exe]をダブルクリックしてください。

【Mac OS X(10.5以降)の場合】

- ① Macの電源を入れて、起動したことを確認してください。
- ② USBポートに受信器のコネクタを接続してください。
※ [キーボード設定アシスタント]が開く場合は閉じてください。
※ USBポートの場所は、機種によって異なります。
- ③ [AirBeam]をダブルクリックします。
メニューバーにAIR BEAMのアイコンが表示され、AIR BEAMが使用可能になります。



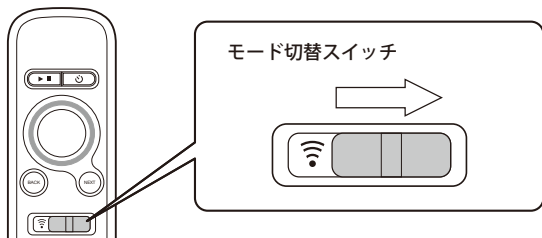
メニューバー



エアビームとして使用する場合は、モード切替スイッチを下図の位置にします。



Windows8では「スタート」画面上においては、エアビームは動作しません。「デスクトップ」画面での動作となります。



● エアビームポインターの表示のしかた

電源スイッチを ON にします。LED ランプ(青色)が約 5 秒点灯します。本体先頭をカーソルの方に向けポインター操作ボタンを押してください。ポインター操作時に LED ランプ(青色)が点灯します。

ポインターの位置を固定する時は

ダブルクリックでポインター位置を固定(ポインターは点滅)します。

ポインターが表示されない時は

ポインター操作用のアプリケーションが起動していることを確認してください。7 ページの「受信器を接続をする」を参照してください。

ポインターが勝手に移動する場合は

机などに静置した状態で一度電源スイッチを OFF にし再度 ON にしてください。その後、ポインター操作ボタンを押してください。(キャリブレーション設定)

※本体を極端に傾けて上下左右に操作すると、正常に動作しない場合があります。



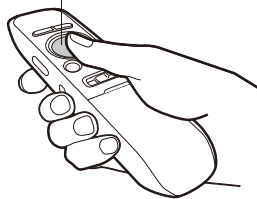
ボタンを無理に押さないでください。故障の原因になります。

〈エアビーム〉使い方のコツ

エアビームは、手首の動き・距離を認識して反応しますので、レーザーポインターのように腕全体を動かしていただく必要はありません。

胸～腰の高さに腕を固定したまま手首だけで操作すると非常にラクにご使用いただくことができます。

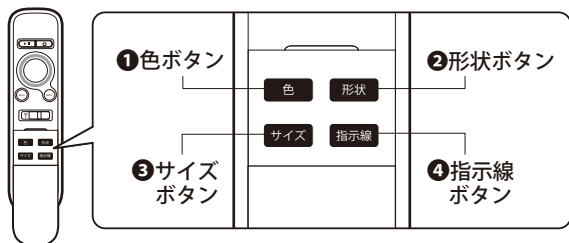
ポインター操作ボタン



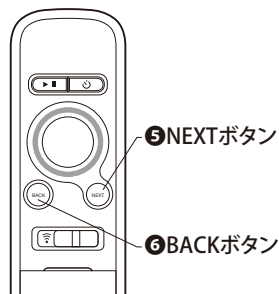
● エアビームポインターの設定方法

お好みの色、形状、サイズ、指示線を設定することができます。
初期設定では、色：黄緑、形状：丸（不透過）、サイズ：約 42 ピクセル、指示線なしです。

本体・スライドカバー内



本体・表面



ポインターの色を変更する

- ①色ボタンを押すごとに以下の順番で順送りします。
※⑤NEXT ボタンで順送り、⑥BACK ボタンで逆戻しすることも可能です。

黄緑・黄緑透過・赤・赤透過・青・青透過・オレンジ・オレンジ透過・紫・紫透過・
ピンク・ピンク透過・シアン・シアン透過・黄・黄色透過・黒・黒透過・スポットライト

ポインターの形状を変更する

- ②形状ボタンを押すごとに以下の順番で順送りします。
※⑤NEXT ボタンで順送り、⑥BACK ボタンで逆戻しすることも可能です。

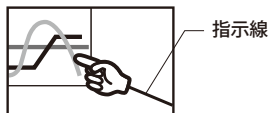


ポインターのサイズを変更する

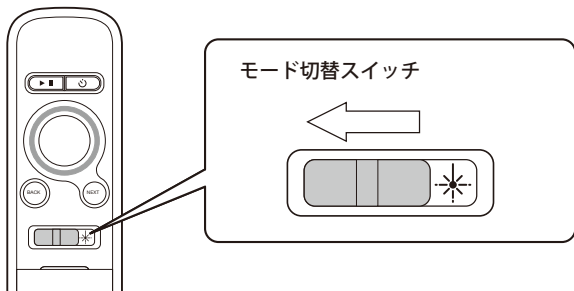
- ③サイズボタンを押すごとに順送りします。
また、⑤NEXT ボタン、⑥BACK ボタンでサイズの微調整が可能です。

ポインターに指示線を付ける

- ④指示線ボタンを押すごとに、
指示線の有無と表示基点切替を順送りします。
※⑤NEXT ボタンで順送り、⑥BACK ボタンで逆戻し
することも可能です。



レーザーポインターとして使用する場合は、モード切替スイッチを下図の位置にします。



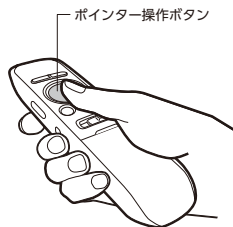
● レーザーポインターの表示のしかた

電源スイッチをONにします。LEDランプ (赤色) が約5秒点灯します。






ポインター操作ボタンを押すと、レーザーポインターが照射されます。

ポインター操作時にはLEDランプ (赤色) が点灯します。

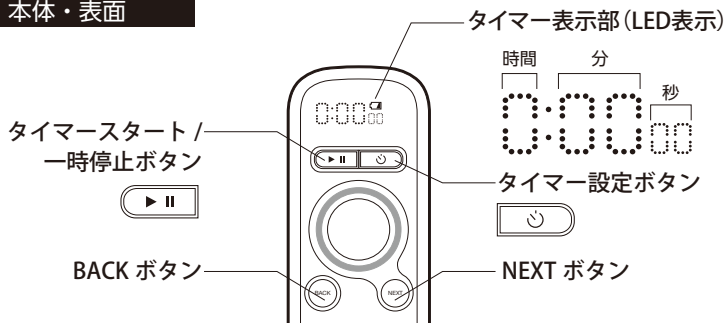
⚠️注意 ボタンを無理に押さないでください。故障の原因になります。



●タイマーの設定方法

- 1 電源スイッチを ON にします。
- 2  ボタンを長押しすると、タイマーが点灯し、「時間」の項目が点滅します。
- 3 NEXT ボタン、BACK ボタンで「時間」を設定し、 ボタンを短押しします。
- 4 NEXT ボタン、BACK ボタンで「分」を設定し、 ボタンを短押しします。
- 5 NEXT ボタン、BACK ボタンで「秒」を設定し、 ボタンを長押しします。
※  ボタンを短押しすると、「時間」・「分」・「秒」の項目を移動できます。
- 6 LED 表示が 3 回点滅します。これでタイマーの設定は完了です。
(20 秒点灯した後消灯します。)





本体・表面



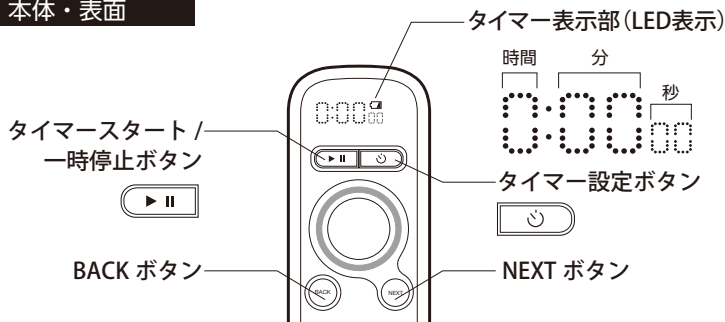
- ・ 2～5 の設定中、無操作状態が20秒続くと、タイマー設定モードを終了します。
- ・ 電源をOFFにすると、設定したタイマーはリセットされます。

- ❗ 3～5 の設定中、NEXT ボタン、BACK ボタンを長押しすると、高速で数字を表示します。

●タイマーの操作

- 1  または  ボタンを短押しすると、タイマーが点灯し、設定した時間が表示されます。
- 2 続けて  ボタンを短押しすると、カウントダウンを開始します。(バイブレーション：2回振動)
※ カウントダウン動作中に  ボタンを短押しすると一時停止(バイブレーション：1回振動)、もう一度短押しすると再開します。(バイブレーション：2回振動)
- 3 タイマー残り10秒でタイマーが点滅し、カウントダウンを終了するとバイブレーション(3回振動)でお知らせします。
※ エアビーム/レーザーポインターのモード切替は、カウントダウンタイマー動作中でも可能です。

本体・表面



●設定したタイマーを呼び出す

カウントダウン終了後、 ボタンを長押しすると、設定したタイマーを再度表示することができます。

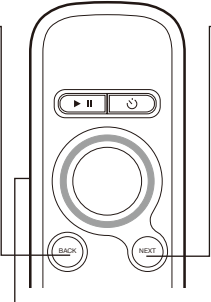




●タイマーのリセット

電源を OFF にすると、設定したタイマーはリセットされます。

● パワーポイントの操作

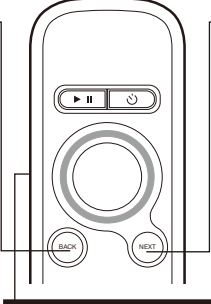




パワーポイントを起動している時に、以下の操作が行えます。

[Windows Vista/7/8/8.1/10の場合]

BACKボタン		NEXTボタン
スライドショーの終了		スライドショーの実行
・ボタンを長押しする		・ボタンを長押しする
		
(キーボード「Esc」と同じ)		(キーボード「F5」と同じ)
ページを戻す		ページを送る
・ボタンを押す(スライドショー実行中)	・ボタンを押す(スライドショー実行中)	
		
(キーボード「PgUp」と同じ)	(キーボード「PgDn」と同じ)	
ポインターを中央に移動	ポインターを中央に移動	
・ボタンを押す	・ボタンを押す	
	BLACK OUTボタン	
	スライドショー実行中に スライドを黒くします。	

[Mac OS X(10.5以降)の場合]

※PowerPoint 2008 for Macではスライドショーの実行はできません。

BACKボタン		NEXTボタン
スライドショーの終了		スライドショーの実行
・ボタンを長押しする		・ボタンを長押しする
		
(キーボード「esc」と同じ)		(キーボード「shift」, 「command」, 「return」と同じ)
ページを戻す		ページを送る
・ボタンを押す(スライドショー実行中)	・ボタンを押す(スライドショー実行中)	
		
(キーボード「▲」と同じ)	(キーボード「▼」と同じ)	
ポインターを中央に移動	ポインターを中央に移動	
・ボタンを押す	・ボタンを押す	
	BLACK OUTボタン	
	スライドショー実行中に スライドを黒くします。	

●Keynoteの操作

Keynote を起動している時に、以下の操作が行えます。





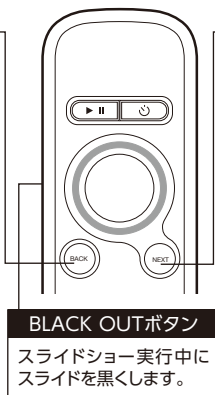
Keynote上の再生画面でAIR BEAMの操作をする場合は、以下の設定が必要です。設定を行わないとポインターが表示されません。



Keynoteの環境設定を開き、「スライドショー環境設定」の[ExposeやDashbordなどによる画面の使用を許可]にチェックを入れます。



[Mac OS X(10.5以降)の場合]

BACKボタン
スライドショーの終了
・ボタンを長押しする

(キーボード「esc」と同じ)
ページを戻す
・ボタンを押す(スライドショー実行中)

(キーボード「▲」と同じ)
ポインターを中央に移動
・ボタンを押す

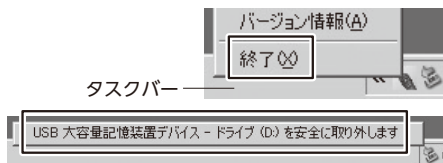


NEXTボタン
スライドショーの実行

※Keynote では、スライドショーの再生はできません。
ページを送る
・ボタンを押す(スライドショー実行中)

(キーボード「▼」と同じ)
ポインターを中央に移動
・ボタンを押す

● 終了のしかた

【Windows Vista/7/8/8.1/10の場合】

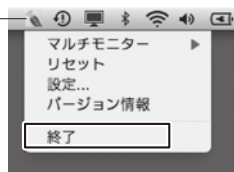
本体の電源を OFF にします。パソコンのタスクバーの AIR BEAM アイコンを右クリックして「終了」を選びます。同様にデバイスアイコンを右クリックして「USB 大容量記憶装置 デバイスを安全に取り外します」を選びます。



【Mac OS X(10.5以降)の場合】

- 1 本体の電源を OFF にします。
- 2 メニューバーの AIR BEAM のアイコンから「終了」を選びます。
- 3 デスクトップの AIR BEAM をゴミ箱にドラッグしてください。

メニューバー



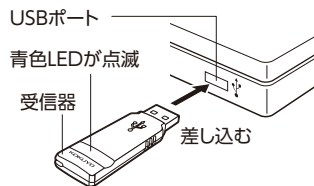
AIR BEAM

- 4 受信器を USB ポートから外してください。

●ID設定

出荷時に製品ごとにID設定しているため、設定は不要ですが、正常に動作しない場合は、下記の手順に従ってID設定を行ってください。

- 1 受信器をUSBポートに接続したまま本体を受信器に近づけ(約10cm以内)、本体のID設定ボタンを押してください。ID設定が完了すると、受信器のLEDが点滅します。
- 2 LEDの点滅が消灯し、ID設定が完了します。これで操作が可能になります。

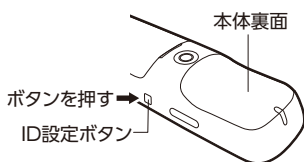


2～5台の本体でご利用になる場合

本製品が複数ある場合、1台の受信器に対して2～5台の本体を交互に操作することが可能です。受信器1台と本体を複数台用意し、上記ID設定 1、2 の手順を1台ずつ行ってください。

※本体を元のペア受信器でご利用になる時は、再度ID設定を行ってください。

※複数台を同時に操作できません。

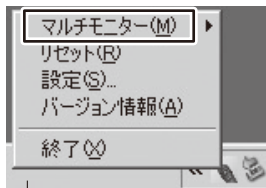


●マルチモニターでの切り替え

表示領域の拡大を目的としてパソコンに複数のモニター(ディスプレイ)を接続して使用する場合(マルチモニター)、スポットライト(色設定)や指示線を表示できない場合があります。以下の方法でモニターを選択してください。

[Windows Vista/7/8/8.1/10 の場合]

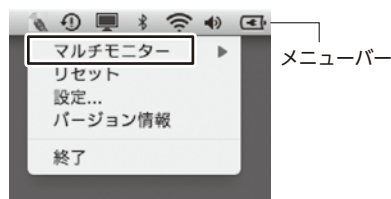
タスクバーのAIR BEAMアイコンのメニューにて表示したいモニターを選択してください。



タスクバー

[Mac OS X(10.5以降)の場合]

メニューバーのAIR BEAMアイコンのメニューにて表示したいモニターを選択してください。

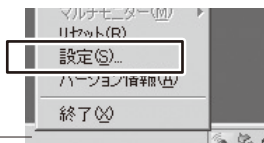


●ポインター設定保存

ポインターをパソコン画面中央から出現させたり、設定モード(色・形状・サイズ・指示線)を保存したりできます。

【Windows Vista/7/8/8.1/10の場合】

- ① タスクバーのAIR BEAMアイコンを右クリックしてメニューから「設定」を選びます。



タスクバー

チェックを入れると、ポインターの操作後、未操作時間が認識時間を超えた時にポインターを画面中央に移動します。

※初期設定(リセット時)では、チェック入、認識時間5秒に設定されています。

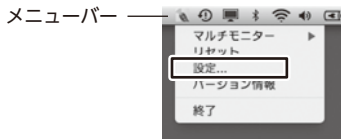
本体の設定モード(色・形状・サイズ・指示線)を受信器に保存します。

※初期設定(リセット時)では、チェックなしで色：黄緑、形状：丸(不透過)、サイズ：約42ピクセル、指示線：なしに設定されています。



【Mac OS X(10.5以降)の場合】

- ① メニューバーのAIR BEAMのアイコンから「設定」を選びます。



メニューバー

- ② 「設定モードを保存する」にチェックを入れます。



【設定モードの保存】機能を使用するには、ドライバのインストールが必要です。
Mac用ドライバのインストール… □□19

●Mac用ドライバのインストール

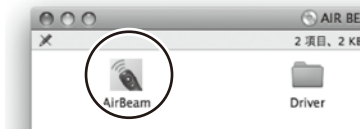
Macで[設定モードの保存]機能を使用するには、ドライバのインストールが必要です。



ドライバをインストールしなくても AIR BEAM を使用することはできますが、
[設定モードの保存]機能は使用できません。
[設定モードの保存]機能を使用するには、ドライバのインストールが必要です。

- 1 受信器をMacのUSBポートに接続します。
※ [キーボード設定アシスタント]が開く場合は、[キーボード設定アシスタント]を閉じてください。

- 2 [AirBeam]をダブルクリックします。
AIR BEAM Macドライバのインストール確認画面が表示されます。



- 3 [はい]をクリックします。
AIR BEAM Macドライバのインストール画面が表示されます。



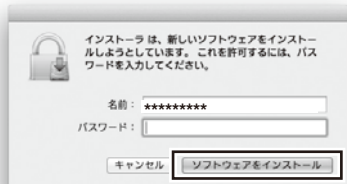
- 4 [続ける]をクリックします。



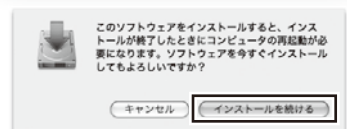
- 5 [インストール]をクリックします。



- ⑥ ログインパスワードを入力し、
[ソフトウェアをインストール]をクリックします。



- ⑦ 再起動しても良いことを確認し、
[インストールを続ける]をクリックします。




- ⑧ インストールの完了画面が表示されたら、
[再起動]をクリックします。
- これでドライバのインストールは完了です。



●故障かな？と思ったら（不調診断とQ&A）

こんなときは	こう処理してください	参照ページ
●エアビームが動作しない。	モード切替スイッチをエアビーム側にしてください。	□9
	電源がOFFになっていませんか。電源をONにしてください。	□7
	電池が消耗していませんか。新しい電池と交換してください。	□5
	電池の ⊕ ⊖ が逆になっていませんか。電池を正しくセットしてください。	□5
	電池や電池ボックス部が汚れていませんか。汚れを拭きとり、電池をセットし直してください。	□5
●受信器をパソコンに接続しても起動しない。 ●タスクバー（メニューバー）にアイコンが表示されない。	パソコンの設定でアプリケーションが起動しない場合があります。 〈 Windows 8.1/10の場合 〉 「PC」から「AIR BEAM」を選択して、 その中の「AirBeam」をダブルクリックしてください。 〈 Windows 7/8の場合 〉 「コンピューター」から「AIR BEAM」を選択して、 その中の「AirBeam」をダブルクリックしてください。 〈 Windows Vistaの場合 〉 「コンピューター」から「AIR BEAM」を選択して、 その中の「AirBeam.exe」をダブルクリックしてください。 〈 Mac OS X(10.5以降)の場合 〉 受信器を接続し、「AirBeam」をダブルクリックしてください。	□7
●エアビームのポインターが勝手に移動する。	机などに静置してポインター操作ボタンを押してください。 （キャリブレーション設定）	□9
●スライドショーのページが切り替わらない。	受信器が接続されていますか。接続してください。	□7
	近くにディスプレイなど電波に干渉する機器や携帯電話など電波を発信する機器、金属板などの信号をさえぎるものがあるいませんか。電波障害物を移動するか、受信器と本体の距離を近づけてください。	□3
	ソフトが対応していますか。確認してください。	□4
	対応するパソコンの機種と必要装備の条件を満たしていますか。条件を確認してください。	□4
●レーザー光が照射されない。	IDが正しく認識されていない可能性があります。ID設定を行ってください。	□17
	モード切替スイッチをレーザーポインター側にしてください。	□11
	電源がOFFになっていませんか。電源をONにしてください。	□7
	電池が消耗していませんか。新しい電池と交換してください。	□5
	電池の ⊕ ⊖ が逆になっていませんか。電池を正しくセットしてください。	□5
電池や電池ボックス部が汚れていませんか。汚れを拭きとり、電池をセットし直してください。	□5	

こんなときは	こう処理してください
<p>●エアビームモード時に動画を再生中にポインターの中心に黒点、周りに黒い影がでる、または、ポインター全体を囲むように黒い四角が表示されてしまう。</p> 	<p>Windowsでのビデオオーバーレイ機能の使用によるものと考えられます。 この機能を無効にする事で、発生しなくなる場合があります。</p> <p>例)【Windows Media Player 11の場合】 [メニュー] > [ツール] > [オプション] > [パフォーマンス]タブを選択 > [ビデオアクセラレータ]枠内「詳細」 > [ビデオ アクセラレータの設定] > [ビデオアクセラレータ]枠内の「オーバーレイを使う」のチェックを外す</p> <p>その他、お使いのアプリケーションにより設定は異なります。 ※ビデオオーバーレイとは、動画の映像をデスクトップ画面の一部に重ね、はめ込み合成して表示する技術のことです。</p>
<p>●エアビームモード時に遠隔地で画面の共有を行った場合にポインターの表示遅延や残像が起ってしまう。</p>	<p>エアビーム自体には画面の共有機能はありません。画面の共有には別途TV/Web会議システムをご用意いただく必要があります。そのシステム内に画面共有の設定機能があらかじめ整っていることが条件となります。</p> <p>お使いのハードウェアの仕様(設定)や回線速度(混雑度合い)、共有ソフトウェアの仕様(設定)などにより表示遅延や残像が起ってしまう場合があります。遠隔地での画面の共有を行う場合、ハード・ソフトの各種マニュアル・回線状況・動作の事前確認をお願いします。</p> <p>例)【動作の事前確認】 画面共有状態でデスクトップのアイコンやアクティブ・ウィンドウをドラッグして動かした場合に遅延や残像がないことを確認します。遅延や残像が残る場合、エアビームでも同様な現象が起きます。</p>
<p>●エアビーム同士で混信することはありますか。</p>	<p>ほとんどありません。エアビームはID設定を約1兆個持っており、エアビーム同士での混信の可能性は低いです。1台のUSB受信器に5台までID設定が可能ですので、1台のPCでエアビーム本体を5台まで交互に操作可能です。</p>
<p>●パソコンと無線で接続するプロジェクターを使用したら、プロジェクター側の画面にエアビームのポインターが表示されない。</p>	<p>プロジェクターによっては無線接続(遅延を防ぐ)のため転送時間を短縮や、転送データを少なくするためにエアビームの表示に必要なウィンドウを転送していない場合があります。その場合、プロジェクターの[レイヤードウィンドウの転送]を設定することで回避できる場合があります。</p>
<p>●エアビームのソフトウェアAirBeam.exeを(マイ)コンピュータから以外の方法で手軽に起動できますか。</p>	<p>エアビームのソフトウェアのショートカット・アイコンをデスクトップに作成することでアイコンのダブルクリックで起動できます。ただし、エアビームを起動する前にUSB受信器をあらかじめ接続しておく必要があります。</p>

●お手入れのしかた



- お手入れをする時は、必ず電源をOFFにしてください。
- 受信器のお手入れをする時は、必ず受信器をパソコンのUSBポートから外してください。

- 日常のお手入れは、乾いたやわらかい布でから拭きしてください。
 - 汚れが著しい場合は、以下の手順で汚れを落としてください。
- ① うすめた中性洗剤をつけた布を、かたく絞って拭いてください。
 - ② 水につけた布をよく絞って、洗剤が残らないように拭き取ってください。
 - ③ 乾いたやわらかい布で、水分が残らないように拭き取ってください。

〈汚れを落とすときのご注意〉水にぬらしたり、化学ぞうきん、アルコールやシンナー系溶剤、酸・アルカリ性洗剤の使用は避けてください。変色や変形、故障の原因になります。

●仕様

本体		
エアービーム	センサー方式	ジャイロ
	ポイント色	10色
	ポイント形状	11種類
	ポイントサイズ	7~420ピクセル (13インチ画面で約1mm~約80mm)
	指示線	左、右、中央の下部切替え
レーザーポインター	発光部	可視光半導体レーザー
	波長	635nm
	最大出力	1mW(クラス2)
	ビーム径	約5mm(距離3m時)
	到達距離	約70m(夜間使用時)
	周波数帯域	2.4GHz RF (ラジオ波)方式
使用電池	単4形アルカリ乾電池2本	
電池寿命	<アルカリ乾電池使用時> エアービーム連続使用：約25時間 レーザーポインター連続使用：約16時間 ※使用状況により異なる場合があります。	
タイマー部	LED表示：5桁	
サイズ (mm)	横32×奥行1123×高さ22	
質量	約65g(電池含む)	
材質	本体：ABS、PC	

受信器	
コネクタ形状	USBコネクタ (A-TYPE)
インターフェース	USB Ver 1.1以上
受信可能距離	受信器の周囲 半径約15m ※使用環境により短くなる場合があります。
電源供給	USBを通じて供給
動作表示	青色LED内蔵
サイズ (mm)	横18×奥行き64×高さ8
質量	約7g
材質	PC

保管用ポーチ	
サイズ (mm)	幅63×奥行き144×高さ6
質量	約12g
材質	布部：PE、 樹脂部：POM

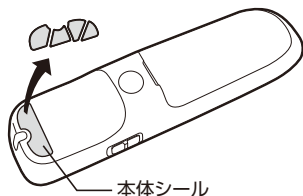
ストラップ	
ひもの長さ	約290mm
質量	約3.5g
材質	樹脂部：POM、リング：スチール、ひも部：PP

● 廃棄時の分別のしかた

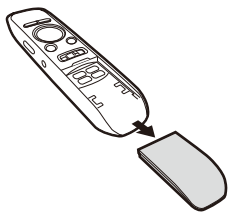
⚠ 注意

- 以下は本製品の廃棄分別のしかたとなりますので、分解後は保証対象外となりますので、あらかじめご了承ください。
- 分別後の本体シール及び基板部品の再使用はできません。再使用すると法律にふれ、罰せられるおそれがあります。
- 分別作業は廃棄時にのみ行ってください。(使用中には、絶対に行わないでください。)
- 分別作業中、及び作業後に本体を持ち運ぶ際には、安全面を配慮し、必ず、厚手の手袋(軍手など)をしてください。
- 分別作業中には、下の台をキズつけるおそれがありますので、厚紙などを下に敷いてください。

- ① 本体裏面の本体シールをはがし、ハサミで裁断してください。

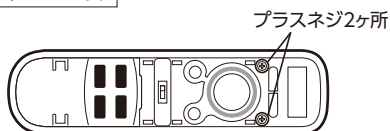


- ③ スライドカバーを矢印の方向に引き、外してください。

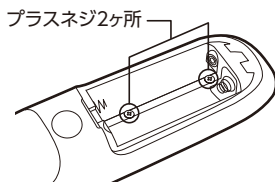


- ⑤ プラスネジ(2ヶ所)をプラスドライバーで外し、本体カバーやボタンを外してください。

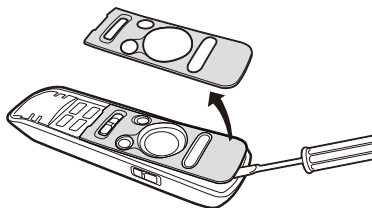
下ケース・表



- ② 本体の電池カバーを開け、電池ボックス内のプラスネジ(2ヶ所)をプラスドライバーで外してください。



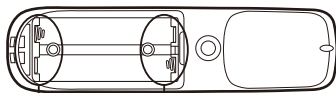
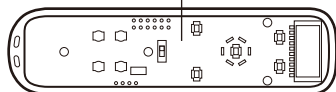
- ④ 本体上部にマイナスドライバーを差し込み、てこの要領で本体上部のカバーを外してください。



- ⑥ 本体から基板部品や金属端子を外して分別してください。

下ケース・裏

基板



金属端子

memo

A series of 20 horizontal dotted lines for writing.